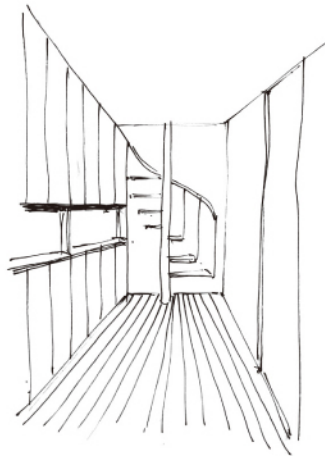


Scene_1

「広がり」をつくる。

土地は狭いが、広い家がほしい。
家を建てようと思うほとんどの人が考える、
この無理難題は、実現できるのでしょうか？
…それができてしまうのが、建築の面白いところです。
なぜなら、平面図で見ると二次元だけど、
実際の建築は四次元の空間芸術だからです。
土地がいくら狭くても、そこに立体的な思考を加え、
時間を伴う空間体験を考慮した設計を施すと、
実際の広さを遥かに超えた
「広がり」を生み出すことができるのです。
「狭い土地しか見つからなかった…」と、
肩を落とさないでください。
制約がある土地こそ、設計士の腕の見せ所なのです。



空間に吹き抜けを設けることで
上下階がつながり、家族の
一体感が生まれます。バルコニー
や中庭も寝室やリビングと一
体化すれば、「広がり」を感じ
る空間になります。

